

学校だより



かもいの(な)か(ま) 一人じゃないよ!

夢に近づけ 今、鴨居がいいカモ!
横浜市立鴨居小学校

秋の行事を通して育てたい 子どもたちの資質・能力

校長 堤 達 俊

なわばりを宣言するモズの「キィ、キィ、キィ」という高鳴きが、子どもたちの歓声に交じって校庭に響く季節となりました。猛烈な暑さで体育や水泳、休み時間の外遊びまでが制限されてしまった夏も、徐々に秋へと歩みを進めています。

過ごしやすい気候の中、本校では、遠足や社会科見学等の行事が増えていきます。

先日は、1年生がこども自然公園（旭区）に行く計画をグループごとに立てている授業がありました。子どもたちは、同じグループの友だちと話し合いながら、「リーダー」「サブリーダー」「お弁当リーダー」「時計リーダー」の役割分担を決めていきます。「私は、みんなをまとめたからリーダーをやりたい。」「私は、時計が読めないから時計リーダーは無理!」などと役割の意味を考えながら話し合っていました。また、遠足のめあてについても「ぼくは、『楽しく』がいいな。みんなはどう?」などと1年生なりに合意形成を図っている姿に頼もしさを感じました。

また、横浜みなとみらいホールで開催された心の教育ふれあいコンサートでは、5年生の児童が、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の奏でる美しい音色に静かに耳を傾けました。本校は、ステージ奥の正面で、ホール全体を見渡すように座っていたのですが、他校の校長先生から「鴨居小の子は、指揮者に合わせて体を揺らしてとても楽しそうに聞いていたね。ノリノリの子がいて、素晴らしかったよ。」とお褒めの言葉をいただきました。曲や演奏の良さなどを見だし、曲全体を味わって聞く力が育まれたと思っています。

今後も、学校行事を通して子どもの発達段階に応じた資質・能力が身につくよう、力を注いでまいります。保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【鴨居の自然 ～切ない蝶 ウラナシジミ～】

校内の植え込みで、ウラナシジミを見つけました。この蝶は、暖かい地方で春に発生し、世代交代をしながら北上してきます。鴨居付近では秋になると目にするようになりますが、北上した個体は、冬には寒さに耐えられずに全て死滅してしまいます。関東では、三浦・房総半島の南部でのみ越冬し、また翌春に死滅するのに北上するという切ない蝶です。

